

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25203
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 文学部 書道学科	開催方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 ( 本学 ) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	高校生のための書道講座					
	学問分野	番号	15	名称	芸術 (書道)	
3. 担当教員	谷口邦彦、井田明宏 (文学部書道学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和7年8月4日 (月) 10時00分~15時00分					
個別開講日	1回目 8/4	2回目 8/4	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
5. 募集定員	40人 (受入学年 : )					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>楷書、行書、草書、篆書、隸書のようないろいろな書き方を「書体」と呼び、同じ楷書であっても、同じ意味であるのに (例えば龍門造像記に見られるような) 点画の組み合わせ、あるいは文字の形が違っていることを「字体」が違うと言います。実際には長い歴史において使用され工夫を積んでいく中で生じた違いですから、隸書と楷書の中間の書体があったり、字によっては楷・行・草同じ形だったりすることもあります。</p> <p>本講座では「書体・書法・デザイン」をテーマに楷書と隸書を取り上げ習うとともに、書法とデザインとの密接な関係にも目を向けてみたいと思います。</p> <p><b>1. 「顔真卿の楷書」10:00~12:00 (休憩含む) (谷口邦彦)</b></p> <p>顔真卿の楷書は、王羲之風でもなく、北魏風でもなく、馴染みのある初唐の楷書とも異なるので取っ付きにくいかもしれません。後世注目されるのは、忠臣としての顔真卿にあやかりたいという事情があったにせよ、篆意のある独特の筆使いによって豊かな立体感が生まれ、実に合理的な書き方だと感心させられます。「明朝体」のもとになったとも言われる顔真卿の楷書書法の魅力を、実技を通して一緒に考えてみましょう。</p> <p><b>2. 「隸書と意匠」13:00~15:00 (休憩含む) (井田明宏)</b></p> <p>古代中国で生まれた隸書は、その発達過程における複雑な状況が関係したことにより、独特の意匠 (デザイン) を持つ固有の書体 (スタイル) として認識されるに至りました。波勢、波磔に代表される隸書の意匠は、伝統的かつ斬新さを兼ね備えており、現代でも私たちの暮らしの中に息づいています。本講座では特に後漢時代の隸書を取り上げて、古代中国における隸書の在り方を知るとともに、実技を通して隸書の意匠の魅力を味わいます。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 ( ) 人 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 男子も受講可能です。					
11. 開設大学への 交通手段	<a href="https://www.enica.jp/">https://www.enica.jp/</a> 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。